

# CHaT Netが開いた 学びの新しい形



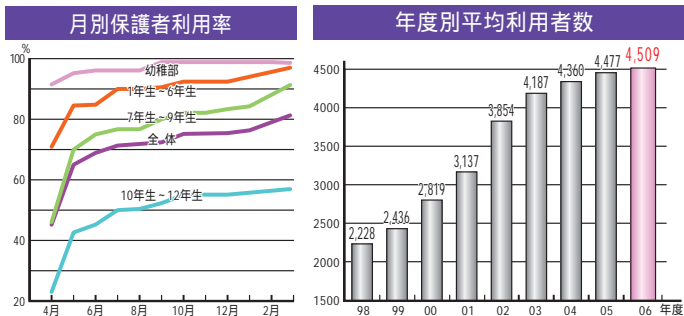
玉川学園マルチメディアリソースセンター  
CHaT Net運営室 課長 波里純次氏



「全人教育」を教育理念に掲げる玉川学園は、幼稚園から大学院まで約1万人が同じ敷地内で学ぶ総合学園だ。なかでも、幼稚園（Kindergarten）から12年生（高校3年生）までの15年間で「K-12（Kindergarten to 12th）」という一つの教育システムでとらえた一貫教育には定評がある。常に新しい時代にふさわしい教育のあり方を求めて挑戦し続け、子どもたち（Children）と家庭（Homes）、教師（Teachers）を結ぶネットワーク「CHaT Net」は導入から早10年目に入った。日常的なコミュニケーションから、授業や在宅学習、学園生活の公開、海外交流にまで幅広く活用され、親・子・教師が一体となった「24時間教育」が実現している。

## 登録ユーザ数は8700！三位一体教育の基盤に

「CHaT Net」が導入された1998年当時はまだ、教育現場はもちろん、家庭でのインターネット環境は整備されていなかった。それから10年。ブロードバンド時代に入り、家庭でも光ネットワーク環境が整備され、CHaT Netがめざすコミュニティは確立された。現在では8700ユーザが登録し、日常的に利用している。2007年5月からは携帯電話とも連携し、CHaT Netで最新情報をいつでも入手できるようになり、さらに利便性が向上した。また、CHaT Netに関するURLやサポート専用のフリーダイヤルを設け、CHaT Netのインストールから設定、使い方まで丁寧サポートしている。



## CHaT Netなくして学園生活は成り立たない

CHaT Netは導入当初より、「First Classサーバ」を利用し、専用の電子メールをはじめ、さまざまな会議室やコンテンツが目的別に提供されており、実にその数500以上というから、利用頻度の高さをうかがい知ることができるだろう。また、欠席連絡や交通遅延情報の提供に加え、新年度にはクラス発表もオンラインで確認できる。電話や連絡帳による伝達手段の不便さはCHaT Net導入により解消された。さらに、学園行事の様子はリアルタイムで更新されるので、常に動き続ける

「学園のいま」を、保護者は家庭で知ることができる。もはや、「CHaT Netなくして学園生活は成り立たない」（波里氏）というほどまでに、学園運営の基盤として定着したCHaT Netは具体的に、どのように活用されているのだろうか。



## だれにとっても便利なシステムを構築

「授業では各教科の会議室でプリントなどの教材をCHaT Netで配布しています。たとえ、宿題のプリントを学校に忘れても、ダウンロードできる利点がありますね。また、英語科や音楽科などでは音声教材を、体育科では水泳の泳法や体育祭でのリズム体操の振り付けを配信し、視聴覚を通じた理解の促進につながっています。教師側の創意工夫次第で、まだまだ効果的な活用ができる可能性を含んでいます」（波里氏）

テレビ会議システムを利用することにより、国際交流も盛んになった。海外の提携校とのメール交換や共同学習、研究発表を通じて交流が深まり、英語を実践する場としても大いに活用されている。学園から各国へ留学している生徒とのコミュニケーションの場も設けられ、留学中も仲間たちに支えられているという実感を得られるという。

保護者にとっては、学園行事がリアルタイムでふんだんな写真や動画とともにレポートされるので、子どもの様子を随時確認できる安心感がある。また、欠席連絡をはじめ、担任への連絡・相談ができるので、時間に拘束されずに、学園へ足を運ばずしてコミュニケーションを取ることができる。

教職員にとっても、生徒の情報を共有化でき、書類のペーパーレス化が進んだことや、教材のデジタル化によって多様な指導ができるようになったことなどメリットは多数ある。

## 「安心・安全・使いやすい」が導入の決め手

玉川学園がCHaT Netのベースとなるグループウェアとして「First Class」を導入したのは、「WindowsでもMacintoshでも同じ環境で利用できる」「個人情報などのデータ流失やウィルスの進入を防げる仕組みを持つ安全・安心なシステムである」「パソコンに詳しくなくても、初期設定が簡単で、だれにでも使いやすい」「通信を暗号化でき、クライアントPCに何も情報が残らない」「サーバ障害時の修復が容易にできる」といった理由が挙げられる。

「ユーザ間のコミュニケーションは年々活発になり、情報を正確かつ公平に伝えられる環境が整いました。学習コンテンツや教務関係のデータベースも充実してきています。導入当初はコミュニケーション主体で運営していましたが、現在はFirstClassアプリケーションサービスによるデータベース連携を活用し、出欠管理、成績管理、学籍管理、児童・生徒情報の検索などの仕組みもできました。

今後はCHaT Netと学内のさまざまなデータベースとの連携をさらに高めてK-12一貫の教務システムにもなり、先生方の業務の効率化に貢献できればいいですね。これからもFirstClassを活用していきます」（波里氏）

K-12の学園内は全館無線LANで結ばれ、子どもたちはどこからでもCHaT Netにアクセスできる。メディアや情報の活用の仕方を理解し、学びの可能性を広げる常に時代を先取りした教育活動に取り組んできた玉川学園は、これからもCHaT Netを基盤に、新たな学びの環境を創造すべく、挑戦し続ける。



導入事例詳細はエフ・シー・マネジメントWebサイトをご覧ください。

**FIRST CLASS**® Education Edition お問い合わせは [www.fcm.co.jp](http://www.fcm.co.jp)  
株式会社エフ・シー・マネジメント

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-14-3 電話:03-5209-5780 FAX:03-5209-5781